

肘関節の痛み

患者様情報

来院されるまでの症状

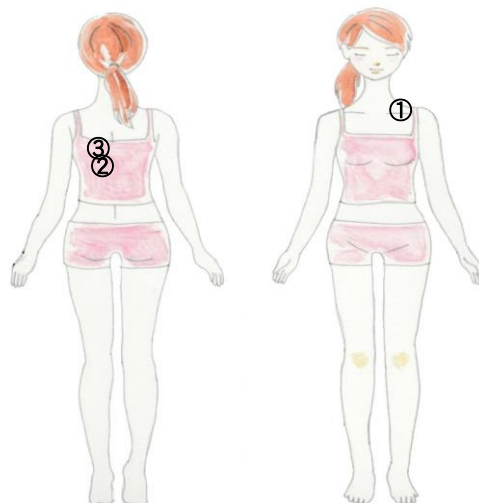
- ・仕事の関係上、在宅ワークで常に座った姿勢の状態が続いていたそうです。万年肩こり、首こりがあり、年中足先と手先が冷えているそうです。
- ・1年前から左の肘の痛みが併発するようになり、整形外科でシップなどをもらい対応していたそうですが治りが悪いので遠い知り合いの紹介で秀鳳に来院されました。

患 者 様	30 代 女性
初 診	2021 年 9 月
既 往 症	なし
他 の 症 状	首こり、肩こり、浅眠、便秘、冷え性、生理痛

四診と経過

■ 診療（診断と施術）

- ・身体を切経してみると、手足の先が冷えていました。
- ・姿勢が悪い状態で仕事をされていたせいか、側弯症のような背中の中の曲がり方をしていました。循環不良や悪さが姿勢の原因で左の首肩に負担がかかり左肘の痛みにつながったと診立てました。
- ・左の「膈兪」「膏肓」に置鍼し、左の肩回りの筋緊張をとっていききました。
- ・左の「欠盆」にゴム粘土のような硬結が確認できたので、緩めるような鍼を施しました。



■ 初診後の経過

- ・「欠盆」の鍼を施術していると、左肘の痛みがあるところまで、響きを感じたとおっしゃっていました。
- ・その後は、肘の痛みは軽減し、気にならなくなっていったそうです。
- ・現在も、月1〜2回のペースで治療を継続しています。

使用した主要なツボ

- ①欠盆（ケツボン） ②膈兪（カクユ）
③膏肓（コウコウ）

■ ひとこと添えさせていただきます

- ・痛みが出るというのは、身体の赤信号と考えています。火のないところに煙は立たないので、いつもの症状だと過信せず、ご自身の身体と向き合うことは大切だと思います。
- ・今回のケースは、在宅ワークにより悪い姿勢で長時間仕事をしたのが原因ではないかと考えています。コロナ禍では当てはまる方も多いのではないのでしょうか。本来人間は、動くように出来た生物です。動かずにいれば、身体は固まり、循環不良を起こします。そうなった場合は、身体を動かしたり、他力で鍼灸治療を受けるのもおすすめです。